

インターネットTV授業

2・3年算数科学習指導案

指導者 山田小 茂内 菜穂子

授業日：平成17年10月4日（火）

1. 単元名 2年：かけ算（1）
3年：あまりのあるわり算
2. ねらい 2年：「1つ分の大きさ」「いくつ分」をとらえることができる。
3年：あまりのある場合の計算方法を理解することができる。

○学担
◇センター

センターの支援	2年：学習活動と子どもの動き			3年：学習活動と子どもの動き	教師の支援
◇きちんと並んでいる方が、数えやすいことを確認する。	1. 教P2の絵を見て、並び方の違いを考え、これからの学習に関心を持つ。	⑩	5	1. 問題をつかむ。 クッキーが□こあります 1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。	○問題文を掲示する。
○めあての掲示	2. 本時のめあてを確かめる。 乗り物に乗っている子どもの数を工夫して数えましょう	②	8	2. 既習のわり算を適用する場面をふり返る。 $12 \div 3$ $15 \div 3$	○既習の学習のまとめを掲示しておく
◇総数が同じでも、1台あたりの人数が異なることにふれる。	3. 自転車・観覧車・コーヒーカップに乗っている人の総数を調べる。	③	2	3. クッキーが14このときについて、立式する。	
○ワークシートにシールを貼らせる。	4. 自転車に乗っている子どもは、『1台に2人ずつ、6台分で12人乗っている』という表し方を知る。		5	4. $14 \div 3$ の答えの求め方を考える。	○ホワイトボードに一人一人の考え方を書かせる。
◇シートの確認をする。	5. ほかの乗り物の人数も、同じように表す。	⑮	12	5. 自分の考え方を発表する。	○つまづいている子どもにはおはじきや図を使わせる。
◇乗法を用いることのできない場面について捉えさせる。	6. コーヒーカップの表し方について考える。	⑧	3	6. あまりの意味を理解する。	○ $14 \div 3 = 4$ あまり2と書くことを知らせる。
	7. 学習のまとめをする。	②	5	7. あまりのあるわり算の答えのもとめかたについて、まとめる。	○ $14 \div 3$ の答えを見つけるときも、3の段を使うことを押さえる。